観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･(地域ＤＭＯ)	
観光地域づくり法人の名称	公益財団法人 仙台観光国際協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 宮城県仙台市	
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町 3-3-20　京阪仙台一番町ビル 6 階	
設立時期	平成 27 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	72 人【役員 3 人、正職員 34 人、嘱託職員 28 人、派遣 4 人、出向 2 人、臨時職員 1 人】	
代表者	結城　由夫「専従」	前仙台市消防局長として、1000 人を超える消防局員を組織するなど卓越したマネジメント力及び危機管理能力を有する。地域住民や多様な事業者との調整・折衝を行った経験から、地域の合意形成を図る調整力を備える。これまでの経験を踏まえ、宿泊・旅館業を中心として観光にかかわる多様な主体と連携を図りながら多角的な視点での観光推進を図る。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー	川口　順弘「専従」 （出身組織名） 仙台市	仙台市から（公財）仙台観光国際協会に派遣。仙台市の観光行政において、2019 年に策定された「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略」に基づき、体験プログラムの創出やデジタルマーケティングなど新規事業の立ち上げを担当。「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024」においても、観光地域づくりの一環である「エリア別ブランディング」プロジェクトや「観光×デジタル」プロジェクト、観光地域づくりの推進に携わり、各種データを踏まえた観光地域づくりに取り組んでいる。

様式１

財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	前川　由香子「専従」	仙台観光国際協会の固有職員として長年勤務。 とりわけ、総務関係の事務に従事し、財務管理に長けており、2022 年より財務会計事務を含めた総務部門の実務的な責任者である。当協会の総務課長として、法人の安定的な運営や財源確保に取り組んでいる。
観光事業部門の責任者	須田　敏光「派遣」 （出身組織名） ＫＮＴ-ＣＴホールディングス	KNT-CT ホールディングスのグループ会社である「株式会社近鉄 HR パートナーズ」から（公財）仙台観光国際協会に派遣。観光事業部門の責任者として国内外の誘客プロモーションや新規コンテンツの開発、受入環境整備を統括している。
ＭＩＣＥ事業部門の責任者	中尾　優美子「専従」	（公財）仙台観光国際協会の固有職員。ＭＩＣＥ事業部門の責任者としてＭＩＣＥ誘致や受入支援などを統括している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	■仙台市 文化観光局〔観光交流部（観光戦略課・インバウンド推進室、インバウンド・MICE 推進課）・東北連携推進室・文化スポーツ部（スポーツ振興課・文化振興課)〕、まちづくり政策局、市民局、経済局、都市整備局、建設局、交通局、教育委員会、危機管理局 ■宮城県 経済商工観光部	
連携する事業者名及び役割	・宮城県観光連盟（地域連携ＤＭＯ・広域観光プロモーション） ・東北観光推進機構（広域連携ＤＭＯ・広域観光プロモーション） ・インアウトバウンド東北（地域連携ＤＭＯ・地域連携プロモーション） ・仙台商工会議所（まちなか活性化） ・仙台市中心部商店街活性化協議会（受入環境整備・まちなか活性化） ・仙台国際空港株式会社（一次交通） ・仙台市交通局（二次交通　地下鉄・路線バス） ・宮城県バス協会（二次交通　路線バス） ・仙台ホテル総支配人協議会（観光地経営・ＭＩＣＥ誘致） ・秋保温泉旅館組合（観光地経営） ・作並温泉旅館組合（観光地経営） ・観光関連団体（観光地域づくり・観光プロモーション） ・商工団体（まちなか活性化・受入れ環境整備） ・宿泊事業者（受入れ体制の整備・MICE 誘致・おもてなし） ・観光関連事業者（観光地域づくり・滞在型観光振興） ・農業関連事業者（観光コンテンツ・特産品開発） ・交通事業者（一次,二次交通体制の整備） ・「歩いて発見伊達な街推進会議」「秋保クラフトバレー推進会議」 「作並・定義リトリート推進会議」「せんだい海の手ネットワーク」 （地域ブランドの確立に向けた取組み）	

様式１

官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】 ①仙台の観光関連産業に関係が深い団体等の役員を中心に評議員１６名、理事１３名、監事２名を構成し、協会の運営及び事業について意思決定を行っており、令和７年度は５月、３月に理事会、６月に評議委員会を開催する予定である。 ＜開催実績＞ ・令和６年４月１日（月）　第３１回理事会（書面開催）／第１７回評議員会（書面開催） ・令和６年５月２３日（木）　第３２回理事会 ・令和６年６月１２日（水）　第３３回理事会（書面開催）／第１８回評議員会 ・令和７年３月２６日（水）　第３４回理事会 ・令和７年４月１日（火）　第１９回評議員会（書面開催） ・令和７年５月２３日（金）　第３５回理事会 ・令和７年６月１０日（火）　第２０回評議員会 ②仙台の観光関連産業に関係する、観光施設・旅行会社・宿泊事業者・小売事業者・交通事業者、商工会議所、行政等の幅広い分野の関係団体各種ステークホルダーをメンバーとする専門委員会を設置し、今後の DMO 活動の指針としている。令和７年度についても、観光、物産、MICE について専門委員会を開催する予定である。 ＜開催実績＞ 〇観光専門委員会 日時　令和６年８月１日（木） 議題　「委員長・副委員長の選出について」「インバウンド部会の設置について」 【インバウンド部会】 日時　令和７年１月３０日（木） 議題：「市内事業者を巻き込むために必要なこと」 「今後取り組むべき香港・欧米豪市場に関して必要なこと」 〇物産専門委員会 日時　令和６年８月２７日（火） 議題　「令和５年度事業報告」「令和６年度事業計画」 【工芸部会】 日時　令和６年１０月１７日（木） 議題　「令和５年度物産事業報告」「令和６年度物産事業計画」 〇ＭＩＣＥ専門委員会 日時　令和６年７月９日（火） 議題　「仙台ＭＩＣＥ業界の課題解決のための提案」 日時　令和７年３月１２日（水） 議題　「ＭＩＣＥ開催地仙台として魅力を向上するには？」 ③ＤＭＯ推進会議 DMO の中期ビジョン・仙台市の観光戦略で掲げる目標達成に向けた、事業及び KPI の進捗管理を月１回行っている。仙台市は観光交流部長をトップに、東北連携推進室長、観光戦略課長、インバウンド・MICE 推進課長等が参加する。DMO は事務局長をトップに、DMO 担当部長、観光事業部長、MICE 事業部長、インバウンド推進室長、総務部長、観光事業推進課長等が参加している。 ＜開催実績＞　※議会開催等で月１回開催が難しい場合には、翌月に２月分開催している。 令和６年４月２３日（火）、令和６年５月２７日（月）、令和６年６月２５日（火）、 令和６年７月２３日（火）、令和６年８月２２日（木）、令和６年１０月８日（火） 令和６年１１月２９日（金）、令和７年１月２４日（金）、令和７年３月１８日（火）、 令和７年４月３０日（水）、令和７年６月２日（月）

様式１

<table>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>データに基づく、持続可能な観光地域づくりを目指すため、デジタルマーケティングレポートを４半期に１回作成している。仙台市で調査を実施したものの分析やレポート概要版・速報版については住民の誰もが閲覧可能なＤＭＯのホームページに一般公開し、地域における観光意識の醸成に取り組んでおり、引き続きマーケティング分析の結果を公開していく。
また、調査の詳細版やＤＭＯが独自調査したレポートなどについては賛助会員限定ページに掲載していく。
＜令和６年度の実績＞
令和６年７月　「仙台観光動向レポート 2023 年 10 月～2024 年 3 月」
「外国人観光客ヒアリング調査 春」編
令和６年１０月「2024 年春夏のイベント分析」
「2024 年上期のインバウンド動向」
令和６年１２月「仙台観光動向レポート 2024 年 4 月～2024 年 9 月」
「外国人観光客ヒアリング調査 秋」
令和７年３月　「令和６年仙台観光実態調査 速報レポート」
令和７年６月　「2024 年度外国人観光客ヒアリング調査」編

観光協会(DMO)の中期ビジョンの目標である「選ばれる街仙台～交流人口で潤う都市」の実現に向けた取組みである、エリアごとの特徴や魅力を最大限発揮するための地域ブランディング「エリア別ブランディング」ワークショップを令和 4 年度から継続して開催している。令和５年度はブランディングの意識調査とロゴマークの作成を行い、令和６年度はブランド定着に向け、来訪者が各エリアのブランドを体感できる取組みを実施。令和７年度からは仙台市の新たな観光戦略達成に向け、ＤＭＯとしても新たな中期ビジョンを策定し、観光庁事業等を活用しながら、各エリアのブランド確立に向けたコンテンツ磨き上げ、効果的なプロモーション、販路開拓等に着手する。

●中心部
・歩いて発見伊達な街ステーションの運営
・当日予約ＯＫ　週末まち歩きツアーの開催
・街歩きガイド養成講座
●東部
・デジタルスタンプラリー「くらしに＋仙台海手スタンプラリー」の開催、効果分析
●秋保
・デジタルスタンプラリー「秋保クラフトバレースタンプラリー2024」の開催、効果検証
●作並・定義
・観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」を活用した定義オーバーツーリズムの解消に向けた取組み。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>■国内観光客誘客事業
・就航都市等における誘客プロモーション事業
・首都圏並びに近県における誘客プロモーション事業など
■海外観光客誘客事業
・タイ、台湾を中心とした海外プロモーション事業
・インセンティブツアー関係者招請事業など
■MICE 誘致事業
・国内外におけるコンベンション誘致セールス事業
・コンベンション主催者招請事業など</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

受入環境の整備	■国内 ・体験プログラム推進事業（2019 年度より） 地域の歴史・文化・自然など多彩な仙台の魅力を五感で体感する体験プログラム 1,000 本の創出を目標とした事業 （2025 年 3 月時点　総プログラム数 2,188 本） ・仙台市観光情報センター（カテゴリー３）の運営など ■海外 ・多言語観光パンフレットの作成 ・外国語接客支援ツールの作成 ・インバウンド対応力向上セミナーの開催 など ■MICE ・ハイブリッド会議助成事業（2021 年度より） ・MICE サポートセンター運営事業 ・コンベンション受入施設との情報交換会の実施 など
観光資源の磨き上げ	■国内 ・観光ボランティアガイド活動促進事業 ・産学官連携によるコンテンツ創出事業 ■海外 ・訪日外国人向け体験コンテンツの創出 ■MICE ・新たなユニークベニューの開拓 ・仙台ならではのエクスカーションの提案　など

【定量的な評価】

【観光客の実態等】

■観光客入込客数　（単位：人，％）

令和３年		令和４年		令和５年		令和６年	
入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比	入込者数	前年比
13,162,162	157.0%	19,215,516	146.0%	25,233,320	131.3%	26,184,901	103.8%

■宿泊者数　（単位：人，％）

	令和３年		令和４年		令和５年		令和６年	
区分	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
旧仙台市内	2,927,027	105.6%	3,795,883	129.7%	4,872,083	128.4%	5,349,437	109.8%
泉地区	185,453	125.3%	226,385	122.1%	277,968	122.8%	273,734	98.5%
秋保地区	471,968	87.1%	652,905	138.3%	715,166	109.5%	785,666	109.9%
宮城地区	49,792	46.5%	91,689	184.1%	139,027	151.6%	100,019	71.9%
合計	3,634,240	101.9%	4,766,862	131.2%	6,004,244	126.0%	6,508,856	108.4%

■外国人宿泊者数　（単位：人，％）

令和３年		令和４年		令和５年		令和６年	
宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比	宿泊者数	前年比
18,306	25.8%	34,303	187.4%	338,559	986.9%	551,822	163.0

■イベント状況　（単位：千人）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
仙台・青葉まつり	0	433	870	933
仙台七夕まつり	1341	2,250	2,269	2,036
SENDAI 光のページェント	1,142	1,700	2,000	2,050
定禅寺ストリートジャズフェスティバル	0	200	550	700
みちのく YOSAKOI まつり	0	250	390	600

様式１

■仙台市観光情報センター利用状況

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
案内件数	45,654	109,834	185,262	196,341
うち外国人	1,714	4,580	18,253	20,311

■交通機関利用状況

（１）JR 仙台駅旅客輸送状況（日平均、定期利用者含む）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
新幹線乗車人員	14,494	19,944	24,730	更新予定

※東日本旅客鉄道㈱資料

（２）仙台空港利用実績

		令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
国内線	乗客者数	825,785	1,386,367	1,575,351	更新予定
	降客車数	825,622	1,392,575	1,579,987	更新予定
	計	1,651,407	2,778,740	3,155,338	更新予定
国際線	乗客者数	2	7,106	131,300	更新予定
	降客車数	0	7,925	133,149	更新予定
	計	2	15,031	264,449	更新予定
合計	乗客者数	825,787	1,393,473	1,706,651	更新予定
	降客車数	825,622	1,400,500	1,713,136	更新予定
	計	1,651,409	2,793,973	3,419,787	更新予定

※国土交通省空港管理状況調書　※国際線にはチャーター便含む

（３）仙台市観光シティループバス（るーぷる仙台）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
乗車人員	206,898	305,703	492,013	456,090

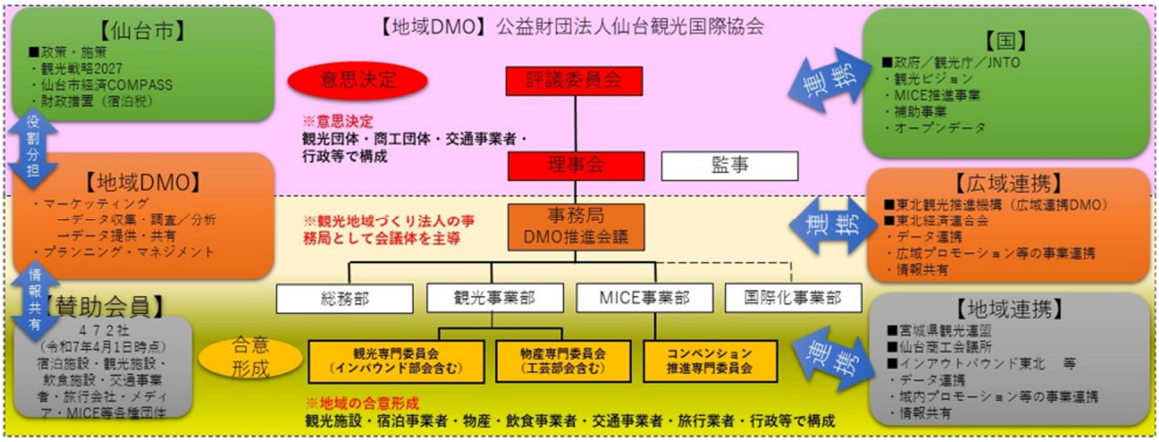
※仙台市観光課資料

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

（公財）仙台観光国際協会が地域 DMO として、中期ビジョンである「持続可能な国際観光都市・多文化共生のまち仙台」の達成に向け、仙台市の観光戦略である「仙台市観光戦略 2027」の推進を、仙台市・DMO が連携し推進していく。また、民間事業者を中心とする賛助会員や地域民間事業者ともビジョンの達成目標とロードマップを共有し合意形成を図るなど、多様な分野の関係者が参画する官民が連携した運営を行う。

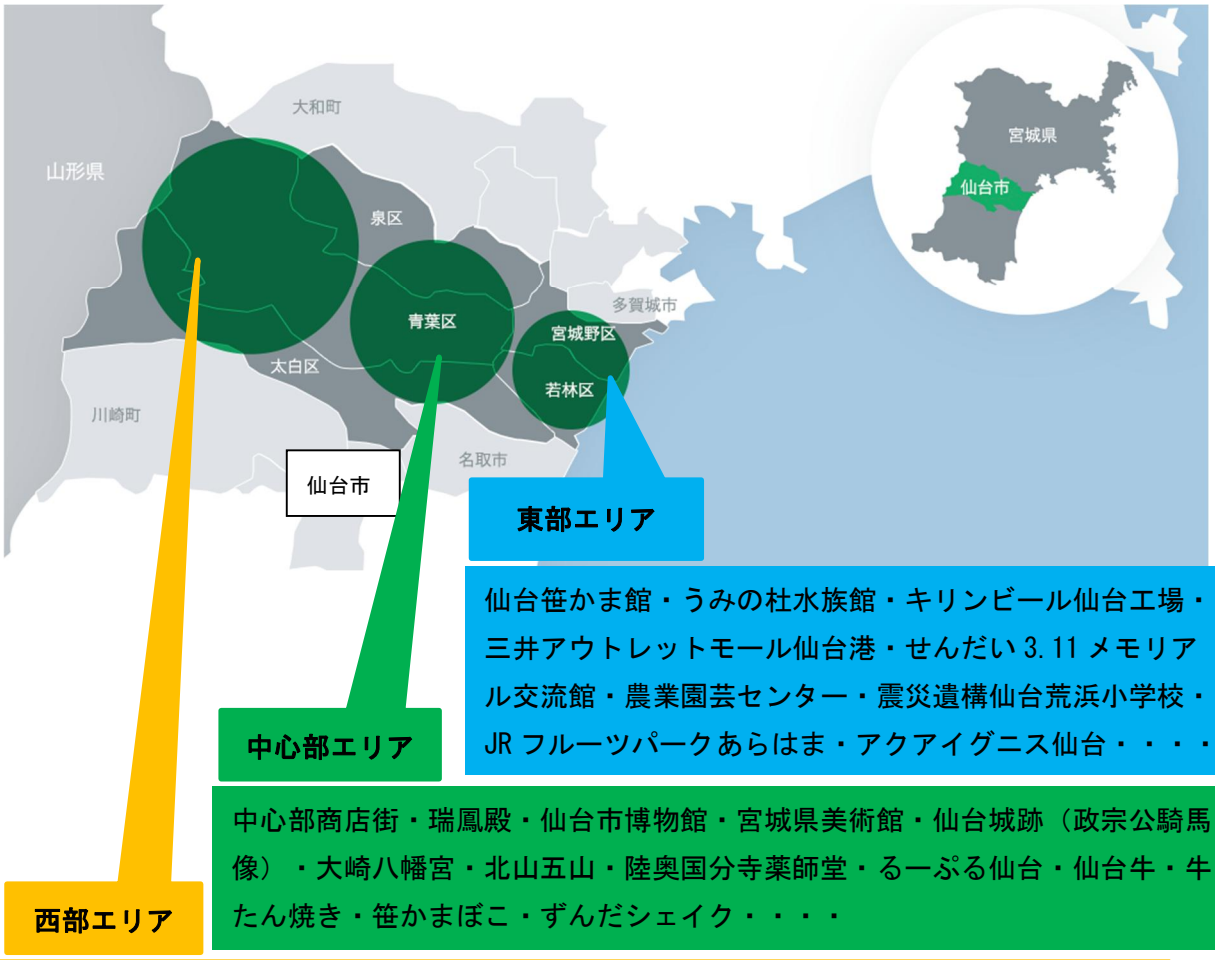
【実施体制図】



様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



仙台笹かま館・うみの杜水族館・キリンビール仙台工場・三井アウトレットモール仙台港・せんだい 3.11 メモリアル交流館・農業園芸センター・震災遺構仙台荒浜小学校・JR フルーツパークあらはま・アクアイグニス仙台・・・・

中心部商店街・瑞鳳殿・仙台市博物館・宮城県美術館・仙台城跡（政宗公騎馬像）・大崎八幡宮・北山五山・陸奥国分寺薬師堂・るーぷる仙台・仙台牛・牛たん焼き・笹かまぼこ・ずんだシェイク・・・・

秋保温泉・磊々峡・秋保工芸の里・秋保ワイナリー・秋保神社・秋保大滝・二口峡谷・秋保おはぎ・作並温泉・つつみ揚げ・ニッカウヰスキー仙台工場・鳳鳴四十八滝・定義如来西方寺・三角油揚げ・泉ヶ岳・泉ボタニカルガーデン・泉ピークベース・・・・

【区域設定の考え方】

仙台市は、仙台市中心部エリア、秋保・作並温泉を含む西部エリア、そして震災からの復興が続く東部エリアの３つの観光エリアに大別され、各域内には多様な観光資源が存在する。令和４年度に、それぞれの地域の関係者によるブランディングワークショップを開催し、各エリアのブランドコンセプトを策定した。東北のゲートウェイとして各隣接県との広域連携も含め、今後、これらのビジョンを活かした各エリア間における連携事業と、各エリアの魅力磨き上げや受入環境整備を実施するにあたり、地域 DMO のエリアマネジメントの範囲として、適切な区域設定と考える。なお、プロモーションについては近隣市町村・宮城県・東北観光推進機構などと連携し面による展開を図っていく。

＜各エリアのブランドコンセプト＞

・仙台市中心部エリア：「歩いて発見 伊達なまち～あなたのとっておきを見つけよう～」
・仙台市東部エリア：「くらしに＋せんだい海手リゾート宣言」
・仙台西部エリア（秋保地区）：「秋保クラフトバレー～Craftsmanship＆nature～」
・仙台西部エリア（作並・定義地区）：「ゆっくりじっくり作並・定義リトリート」

様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント、体験プログラム等】
■観光資源

	カテゴリー	名称
仙台市中心部エリア	観光・商業施設	る一ぷる仙台、瑞鳳殿、仙台市博物館、仙台城跡（伊達政宗公騎馬像)、大崎八幡宮、せんだいメディアテーク、定禅寺通り、勾当台公園、仙台市中心部商店街（アーケード商店街）エスパル仙台、パルコ、アエル、藤崎百貨店、仙台三越、仙台大観音、フィギュアスケートモニュメント
	自然	青葉山、広瀬川
	歴史・文化	瑞鳳殿、仙台城跡、大崎八幡宮、北山五山、陸奥国分寺薬師堂、輪王寺
	食	仙台牛たん焼き、笹かまぼこ、ずんだ餅、仙台長なす漬け、冷やし中華、仙台づけ丼、仙台マーボ焼そば、仙台あおば餃子、仙台せり鍋、仙台駄菓子、国分町、BAR Hopping（飲み歩き）
	イベント	仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント、みちのく YOSAKOI まつり、仙台初売り、どんと祭仙台クラッシックフェスティバル、仙台国際音楽コンクール
	スポーツ	ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台89ERS、マイナビベガルタ仙台レディース、仙台国際ハーフマラソン、全日本大学女子駅伝、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝)、ツール・ド・東北
	体験プログラム	まち歩きツアー、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等
仙台市西部エリア	観光・商業施設	秋保・里センター、万華鏡美術館、秋保ビレッジ、秋保ワイナリー、アキウ舎、秋保工芸の里、天守閣自然公園、秋保大滝植物園、秋保ビジターセンター、湯のまち作並観光交流館ラサンタ、岩谷堂穴薬師、ニッカウヰスキー仙台工場、泉ボタニカルガーデン、仙台泉プレミアムアウトレット、泉パークタウンタピオ、泉ピークベース、GREAT DANE BREWING
	自然	二口峡谷、磐司岩、大東岳、秋保大滝、磊々峡、船形山、鳳鳴四十八滝、鎌倉山(ゴリラ山)、二ツ岩遊歩道、泉ヶ岳
	歴史・文化	秋保大滝不動尊、秋保神社、湯神神社、第二広瀬川橋梁（熊ヶ根鉄橋)、定義如来（西方寺)、秋保の田植踊、福岡の鹿踊・剣舞
	食	秋保おはぎ、秋保ワイン、秋保在来そば、秋保米、つつみ揚、串だんご、ニッカウイスキー、三角定義あぶらあげ、定義味噌焼きおにぎり、秋保クラフトビール
	イベント	まつりだ秋保、仙台秋保そばフェス、アキウクラフトフェア手ん店、秋保ナイトミュージアム、作並駅感謝祭、定義ホタル祭り、泉ヶ岳 悠・遊フェスティバル
	スポーツ	みやぎ湯めぐりウルトラマラソン、作並温泉トレイルランニング、スキー・スノーボード、ジップライン（泉ヶ岳)、SUP

	体験プログラム	アウトドア・アクティビティ、伝統文化・カルチャー、伝統工芸・ものづくり、食体験等
仙台市東部エリア	観光・商業施設	鐘崎総本店笹かま館、仙台うみの杜水族館、三井アウトレットパーク仙台港、キリンビール仙台工場、夢メッセみやぎ、せんだい 3.11 メモリアル交流館、農業園芸センター、震災遺構仙台市立荒浜小学校、JR フルーツパーク仙台あらはま、アクアイグニス仙台
	自然	深沼海岸
	歴史・文化	貞山運河（貞山堀り）
	食	はらこめし、仙台せり、仙台曲がりねぎ
	イベント	荒浜灯籠流し、荒浜打ち上げ花火
	スポーツ	海岸公園サイクリングロード、海外公園野球場、ガモウパーク、海岸公園パークゴルフ場、海岸公園馬術場、海岸公園冒険広場デイキャンプ場
	体験プログラム	震災伝承・防災体験プログラム等

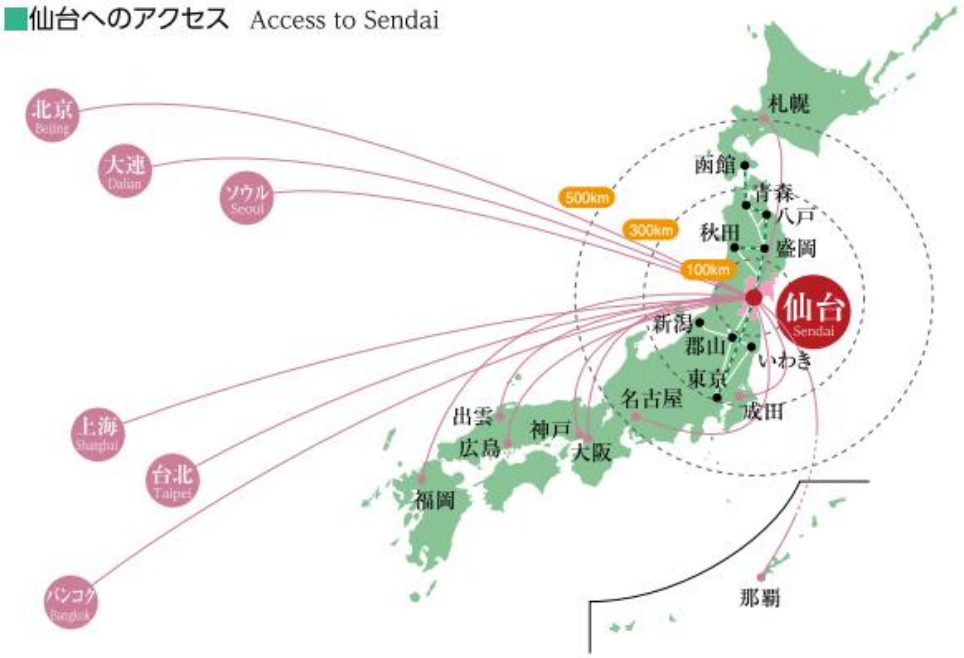
■活用方法
各エリアのエリアブランディングに基づき、観光資源の磨き上げを図る。また、各エリアの連携事業を推進し、仙台全体としての魅力向上を図り、滞在型観光の促進を図っていく。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】（2024 年 10 月 1 日現在）

区分	旅館・ホテル・		簡易宿所		その他宿泊施設(民泊)		合計	
	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数
青葉区	71	17,192	8	677	20	1,073	99	18,942
うち作並温泉	7	2,062	0	0	4	238	11	2,300
宮城野区	21	4,291	2	46	0	0	23	4,337
若林区	6	2,300	3	60	4	222	13	2,582
太白区	7	451	3	116	10	388	20	955
うち秋保温泉	18	6,132	2	271	0	0	20	6,403
泉区	9	1,241	2	360	7	260	16	1,861
全市	137	33,669	20	1530	38	2,181	194	37,380

様式１

【利便性：区域までの交通、域内交通】



■空路（仙台国際空港：仙台市内まで仙台空港アクセス鉄道にて２８分）

（国内線）

・札幌（新千歳）―仙台　1 時間 10 分　（15 往復/日）
・東京（成田）―仙台　1 時間　（2 往復/日）　※運休中
・新潟－仙台　40 分　（2 往復／日）※運休中
・名古屋（中部）―仙台　1 時間 10 分　（6 往復/日）
・大阪（伊丹）―仙台　1 時間 10 分（14 往復/日）
・大阪（関西）―仙台　1 時間 20 分（3 往復/日）
・神戸―仙台　1 時間 20 分（2 往復/日）
・出雲―仙台　1 時間 25 分（1 往復/日）※運休中
・広島―仙台　1 時間 15 分（2 往復/日）
・福岡―仙台　1 時間 40 分（7 往復/日）
・沖縄（那覇）―仙台　2 時間 25 分（1 往復/日）

（国際線）

・ソウルー仙台　2 時間 10 分　（5 往復/週）
・上海―仙台　2 時間 55 分　（2 往復/週）
・北京―仙台　5 時間 10 分（2 往復/週）※大連経由
・大連―仙台　2 時間 30 分（2 往復/週）
・台北―仙台　3 時間 30 分（17 往復/週）
・香港―仙台　4 時間 15 分（11 往復/週）※5 便運休中
・バンコクー仙台　5 時間 41 分（3 往復/週）※運休中
・高雄―仙台　4 時間 10 分（3 往復/週）

■鉄道（新幹線）

・東京―仙台　1 時間 30 分
・秋田―仙台　2 時間 07 分
・新函館北斗―仙台　2 時間 27 分
・金沢―大宮―仙台　3 時間 27 分

■高速バス

・青森―仙台　5 時間 05 分
・秋田―仙台　3 時間 35 分

・盛岡―仙台　　2 時間 27 分
・山形―仙台　　1 時間 10 分
・福島 - 仙台　　1 時間 26 分
・東京―仙台　　4 時間 34 分
■自動車
・青森（青森 IC）―仙台（仙台宮城 IC）　　3 時間 49 分
・秋田（秋田中央 IC）―仙台（仙台宮城 IC）　2 時間 56 分
・盛岡（盛岡 IC）―仙台（仙台宮城 IC）　　1 時間 52 分
・東京（箱崎料金所）―仙台（仙台宮城 IC）　4 時間 13 分
【外国人観光客への対応】
　ＪＲ仙台駅構内に設置している「仙台市観光情報センター（カテゴリー３）」と仙台パークビル内に設置している「仙台多文化共生センター（カテゴリー２）」は、共に日本政府観光局認定外国人観光案内所のカテゴリーに認定されており、外国人観光客に対し、様々な情報提供を行っている。
　また、仙台の公式観光情報サイトである「せんだい旅日和」及び「Discover SENDAI」や各種 SNS による多言語での情報発信のほか、仙台市中心部では、フリーWi-fi 設備の整備が実施されている。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	域内旅行消費額を把握	アンケート調査により取得
延べ宿泊者数	域内延べ宿泊客数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
来訪者満足度	域内における旅行満足度を把握	アンケート調査により取得
リピーター率	域内における再訪率を把握	アンケート調査により取得
国内人流データ	国内観光客の人流動態の把握	外部システムより取得
仙台市観光客入込数	域内観光客入込数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市外国人宿泊者数	域内外国人宿泊者数と実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市内宿泊施設数	域内宿泊施設数の実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
仙台市主要イベント集客数	主要イベントの実態を把握	既存調査（仙台市調査）より取得
コンベンション開催状況	域内コンベンション開催件数の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
交通機関利用状況	域内交通機関の利用状況の把握	既存調査（仙台市調査）より取得
WEB サイトのアクセス状況	アクセス解析による関心層の把握	Google アナリティクスより取得
来訪者満足度調査	プロモーション等の効果測定	独自調査にて取得

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景
　2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行されて以降、インバウンドを含む観光需要は大きく回復しており、2024 年 1～10 月の仙台市の宿泊者数は前年の約 109%、そのうち、インバウンド宿泊者数は前年の 160%（いずれも 1～10 月前年同月比）と増加の一途を辿っている。
　また、仙台市の外国人住民はコロナ前の 2019 年の約 13,000 人から 2024 年には約 16,000 人と増加し、多文化共生への理解促進やダイバーシティへの取組強化が求められている。そのような中、本年、仙台市文化観光局では「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略（2019 年度～）」「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 2024（2022 年 4 月～）」に続く 3 期目として「仙台市観光戦略 2027」を策定し、「来てもらう」「泊まってもらう」「また来てもらう」の３つの視点のもと、新たな財源として宿泊税を活用しながら、観光コンテンツの創出や、インバウンド誘客の強化、持続可能な観光地域の形成など新たな６つの重点プロジェクトを推進し、2027 年までに仙台市内の宿泊者 680 万人泊を達成目標に

掲げたところである。また、「仙台市基本計画（2021 年度～）」では、「多様性が社会を動かす共生のまちへ」をキーワードに、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指しているとともに、「仙台市ダイバーシティ推進指針」では、歴史・文化・都市個性を踏まえ、世界を視野に調和のとれた「仙台らしいダイバーシティまちづくり」を推進することを目指している。

仙台市の戦略も踏まえ、当協会は観光地域づくり法人（DMO）、かつ、地域国際化協会として観光地域づくりや多文化共生のまちづくりに資する重点的な施策や取り組むべく、新たな中期ビジョン「持続可能な国際観光都市・多文化共生のまち仙台」を掲げた。ビジョンにおいては、当協会のこれまでの取組に加え、観光 DX、持続可能な観光地域づくり、多様性など新たな社会情勢の変化を踏まえ、専門家集団として、地域に信頼される DMO を目指すこととしている。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・首都圏から新幹線で約１時間 30 分の立地。 ・東北のゲートウェイとして、東北各都市と高速バスで結ばれている。 ・県内の高速道路網が整備されている。 ・市内に秋保温泉・作並温泉と２大温泉地を抱えている。 ・エリアごとの多彩な観光資源 ・豊かな自然に恵まれた都市環境 ・多彩なイベントの実施 ・仙台の地に根付いた伊達文化及び伝統工芸や物産 ・東北大学など教育機関や研究開発拠点が集積 ・東北の空の玄関口として仙台国際空港がある。	弱み（Weaknesses） ・観光地としての認知度が低い ・観光面のランドマークの不足 ・近隣市町村等エリア間の連携不足 ・宿泊に繋がる朝・夜のコンテンツが不足 ・受入施設、看板表示等の外国語対応の遅れ ・海外での認知度不足 ・インバウンド対応商品の不足 ・コンベンション施設の不足 ・バンケットが可能な施設・ホテルの減少
外部環境	機会（Opportunity） ・大阪関西万博による訪日外国人の増加 ・国内唯一の国際卓越研究大学として東北大学が認定されたことによる研究者の増加 ・青葉山エリアおよび仙台市内中心部における再開発の進展 ・仙台駅中心部ホテル建設の増加 ・政府系国際会議の開催地として選定 ・大型イベントの開催地に選定 ・旅行形態の変化	脅威（Threat） ・人口減少と高齢化 ・物価上昇 ・ニーズの多様化によるターゲット選定、アプローチの難しさ ・観光人材不足

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層
国内：一都三県からの観光客及びビジネス客
海外：重点成熟市場である台湾・タイ

○選定の理由
【国内】DMO が実施する WEB アンケート調査「仙台市観光動態調査」の結果、2024 年に仙台市へ観光で訪問した割合は「一都三県」が 35.4%と最も高い。また、リピーターになるほど観光消費額が高くなることが分かっているが、一都三県については仙台の宿泊率・連泊する割合も高く、観光消費額が高い傾向にある。また、仙台へ１度訪れた人は東北地方への再訪意向が高くなることが確認されており、広域観光の拠点として仙台を来訪することが期待される。
【海外】仙台空港から週 20 便直行便が就航している台湾は仙台を訪問する国・地域別シェアでは約半数を占めているため、継続して再訪、新規来訪を促していく。運休中のタイについても、仙台国際空港における国際定期路線再開に向けて取組みを強化しており、直行便の就航再開による旅行者数、宿泊者数の大幅な伸びが期待できる市場である。

○取組方針
下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。
・首都圏からのファミリー、カップル、友人旅行（主にリピーター）
・仙台を来訪するビジネス客・MICE 参加者
・仙台を拠点に東北の王道観光や仙台滞在を楽しみたい台湾・タイ等の BtoB 向け商談

○第 2 ターゲット層
国内：東北圏域からの観光客及びビジネス客
海外：仙台空港直行便が就航している推進市場である香港、韓国、中国

○選定の理由
【国内】DMO が実施する WEB アンケート調査「仙台市観光動態調査」の結果、2024 年に仙台市へ観光で訪問した割合は「一都三県」の 35.4%に次いで、「東北＋新潟」が 28.5%と高い。東北・新潟はリピーターが多く、年に複数回訪問するなど宿泊増が期待できる。
【海外】2024 年 12 月に仙台空港に就航するなど、現在週 11 便が運航している。仙台の訪問者数も増加傾向にあり、今後、仙台市と共に旅行博出展などを行う推進市場である。韓国・中国については、スキーやトレッキング、ゴルフなど特定の目的を持ち、来仙することが期待される。

○取組方針
下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。
・ショッピングやイベント等に何度も訪れる東北地域の個人客
・仙台を訪れるビジネス客・MICE 参加者
・ゴルフやスキー、桜など、特定の目的を持ったＳＩＴ層に向けたプロモーション

○第 3 ターゲット層
国内：国内就航都市及び姉妹都市など関係都市からの観光客及び教育旅行客
海外：今後獲得が求められる戦略市場である欧米豪

○選定の理由
【国内】仙台市観光 DMP のマーケティングから、仙台の就航都市からの来訪者数は首都圏・東北に次いで数値が高く、WEB 分析結果においても閲覧全体の 43.9%が就航都市からであることが確認でき、これらのターゲット層からのニーズも高いと判断し、就航都市からの観光客をターゲットに選定している。また、就航都市以外にも、姉妹都市など仙台と関係が深い都市からの観光客の誘客を視野に、国内の交流人口の拡大を図っていく。
【海外】欧米豪はこれまで着手できていない市場であるが、滞在消費額やロングステイが期待できる市場であることから戦略的に誘致を進めていく市場である。団体やグループでの来訪が非常に多い台湾と世界的ツーリズムの潮流であるアドベンチャーを好む傾向にある欧米豪

に対し、自然、アクティビティー、文化等が好まれると想定し、ターゲットとしている。 〇取組方針 下記のターゲットの集客を目指し、各種コンテンツの開発とプロモーションを展開する。 ・就航都市からの観光客 ・北海道及び東北圏域の教育旅行客 ・仙台を訪れるビジネス客・MICE 関係者 ・直行便のある成田や羽田から入国し、長期滞在を好み、地方滞在に関心の高い外国人観光客 ・仙台の文化・自然・歴史・食に高い興味を示す欧米豪　等

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	持続可能な国際観光都市・多文化共生のまち　仙台を目指して
②コンセプトの考え方	仙台市が持つ歴史・文化などの魅力を磨きあげることで、訪れる人の誰もが多様な魅力を体感できるダイバーシティの視点を取り入れながら、新たな価値の創造・提案を通して持続可能に潤う観光都市を創り上げるとともに、地域住民・労働者としての外国人住民が増加する中、共生のまちづくりをさらに推進していくことを目指していく。そのために、当協会は DMO として観光・物産・MICE、地域国際化協会として多文化共生の専門知識やノウハウ、コーディネート機能を持ち合わせ、地域事業者や住民、関係機関などのステークホルダーとのネットワークを有する企画・実行組織として、スペシャリスト、専門家集団となっていく。仙台市基本計画及び仙台市文化観光局が策定した仙台市観光戦略 2027、同まちづくり政策局が策定した仙台市ダイバーシティ推進指針の方向性に基づき、国内外からの観光客やコンベンションの誘致、物産品の販路拡大等に関する事業を行うとともに、交流人口の拡大及び地域経済の活性化と多文化共生社会の形成による活力ある都市づくりに寄与していく。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	評議員会・理事会 ＤＭＯ推進会議 観光地域づくり推進ワークショップ 観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会
	公益財団法人仙台観光国際協会の評議員及び理事は地域の多様な関係者で構成されており、意思決定の場として、評議員会を年１回、理事会を年２回開催している。 また、多様な業種の関係者で構成される、観光専門委員会・物産専門委員会・MICE 専門委員会において「情報発信」「受入れ環境整備」「プロモーション」など戦略の共有、合意形成を図る。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	年に１回の観光動態調査を行い、その調査分析結果を宿泊施設、観光施設、飲食店など多様な関係者に対して情報提供を行い、共有することでサービスの品質向上に繋げることを目指している。また、受入環境の整備を目的として、事業者向けのセミナーを実施し、対応力の向上を図っている。 ＜外国人観光客対応力向上セミナーの開催＞

	●第１回 【日時】令和６年 10 月７日（月）13：00～16：10 【場所】仙台市中小企業活性化センター 【内容】 「外国人観光客対応力向上セミナー（接客編）」と題し、外国人観光客に対する接客レベルの底上げを目的に、訪日外国人観光客と接する機会の多いスタッフ層を対象とし、情報提供やスキルアップにつながる講演やワークショップを実施した。 ●第２回 【日時】令和７年１月 27 日（月）14：00～16：00 【場所】公益財団法人仙台観光国際協会４階会議室 【内容】 仙台地域で地域消費額を増やすため、Google ビジネスプロフィールを使った集客のコツと、事業者が受入れ体制の整備やコンテンツの創出などに取組むきっかけとなるよう、公開型コンサルにて仙台の事業者による情報の共有の場を設けた。 この他、現在構築を進める観光 CRM 導入後には、来仙経験者をリピートさせるダイレクトマーケティングや、潜在層へのアプローチ、地域 OTA を活用した利用者データの分析等、観光消費額が高いリピーター施策に繋げていく。 ●スポットワーカーへの事前研修 仙台市内のホテル・旅館の人材不足解消とサービススタッフのスキルアップを目的に、仙台市内ホテル・旅館においてスポットワーク利用者を対象に、計３回の事前研修を開催した。（第１回：令和６年７月 12 日、第２回：令和６年８月９日、第３回：令和７年２月１８日） ●タクシー事業者向け乗務員研修会 仙台市内のタクシー事業者の満足度向上に向け、令和７年２月２０日に観光乗務員研修会を開催した。観光客を対象としたアンケート調査等を実施し、満足度や改善内容を把握する。また、その調査分析結果を宿泊施設、観光施設、飲食店など関係者に対して情報提供を行い共有することでサービス向上の好循環を図る。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	・国内外に対して効果的に仙台の観光情報を発信するため、公式ホームページ（せんだい旅日和・Discover Sendai）や SNS を活用した情報発信を行う。 ・旅マエ、旅ナカ、旅アト、それぞれのシーンに応じて、観光客が求める情報を的確に発信する。 ・体験プログラムを実施する民間事業者や地域と連携し、各コンテンツの魅力的な情報発信を展開する。 ・仙台の伊達文化に息づく伝統工芸や銘品銘菓の普及と販路拡大を図る。 ・滞在型観光の推進のため、体験プログラムの利用促進に対して、旅行会社・メディアへのセールスコールの他、デジタルプロモーション広告等の支援を実施する。 ・観光 DMP を活用し、観光動向にかかる様々なデータの収集・分析を行い、最新の状況データを共有することでマネジメント機能の強化を図る。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	－	257,299	373,744	397,305	408,662	426,425
		(－)	(－)	(82,128)	(97,694)	(106,575)	(124,338)
	実績	206,086	330,978	393,025			
		(－)	(55,610)	(98,017)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	－	6,242	6,500	6,600	6,700	6,800
		(－)	(334)	(500)	(550)	(600)	(700)
	実績	4,780	6,004	6,508			
		(34)	(338)	(551)			
●来訪者満足度（%）	目標	95	68	77	78	79	79
		(－)	(－)	(91)	(92)	(92)	(92)
	実績	72.2	76.0	77.4			
		(－)	(91)	(91.4)			
●リピーター率（%）	目標	－	56	57	55	55	56
		(－)	(－)	(25)	(27)	(27)	(28)
	実績	54.7	52.9	54.0			
		(－)	(25)	(26.4)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値であり詳細は下記を参照のこと。

※期間は令和６年（１月～１２月）を対象し、ＫＰＩの数値を記載している。

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

数値上段は旅行消費額の総数であり、下段は訪日観光客のみの旅行消費額である。仙台市の観光戦略「仙台市観光戦略２０２７」で設定した宿泊客数等の数値目標を基準に、令和６年度仙台市観光実態調査の宿泊・日帰りの比率から日帰り旅行客、観光消費額を乗じて算出している。

令和６年度仙台市観光実態調査の宿泊・日帰りの比率から日帰り旅行客を算出し、１人当たり市内観光消費額を乗じて算出。

宿泊客 76%　日帰り客 24%　※仙台観光国際協会独自調査の宿泊比率より

令和６年度**市内宿泊消費額平均 45,433 円**、**市内日帰り消費額平均 12,950 円**

国内客消費額

＜令和６年度＞

・国内＋訪日宿泊者数　6,508,856 人泊

・訪日宿泊者数　551,822 人泊

・国内宿泊客数　5,957,034 人・・・①

・国内日帰り客数(5,957,034 人 / 0.76) × 0.24＝1,881,168 人・・・②

①　×45,433 円＋②×12,950 円＝**295,007,051,322 円**（国内の観光消費額）

＜令和７年＞
・国内＋訪日宿泊者数　6,600,000 人
・訪日宿泊者数　550,000 人
・国内宿泊客数　6,050,000 人・・・①
・国内日帰り客数(6,050,000 人 / 0.76) × 0.24＝1,910,526 人・・・②
①×45,433 円＋②×12,950 円＝**299,610,961,700 円**（国内の観光消費額）

＜令和８年＞
・国内＋訪日宿泊者数　6,700,000 人
・訪日宿泊者数　600,000 人
・国内宿泊客数　6,100,000・・・①
・国内日帰り客数 1,926,314 人・・・②
①×45,433 円＋②×12,950 円＝**302,087,066,300 円**（国内の観光消費額）

＜令和９年＞
・国内＋訪日宿泊者数　6,800,000 人
・訪日宿泊者数　700,000 人
・国内宿泊客数　6,100,000 人・・・①
・国内日帰り客数 1,926,314 人・・・②
①×45,433 円＋②×12,950 円＝**302,087,066,300 円**（国内の観光消費額）

訪日客消費額
＜令和６年＞
ＤＭＯが独自に実施する外国人観光客アンケート調査の結果より、平均消費額を算出している。
・令和 6 年度仙台滞在中に支出した１人あたりの金額　**177,626 円**・・・①
・令和 6 年度の訪日客宿泊者数　**551,822 人泊**・・・②
①×②＝**98,017,934,572 円**
＜令和７年＞
①×550,000 人＝**97,694,300,000 円**
＜令和８年＞
①×600,000 人＝**106,575,600,000 円**
＜令和９年＞
①×700,000 人＝**124,338,200,000 円**

→令和 6 年市内消費額：393,025,021,322 円（うち訪日：97,947,970,000 円）
令和 7 年市内消費額：397,305,261,700 円（うち訪日：97,694,300,000 円）
令和 8 年市内消費額：408,662,666,300 円（うち訪日：106,575,600,000 円）
令和 9 年市内消費額：426,425,266,300 円（うち訪日：124,338,200,000 円）

●延べ宿泊者数
数値上段は宿泊者総数の人数であり、下段は訪日宿泊者のみの人数である。
令和７年度以降の目標数値については仙台市次期観光戦略の計画に基づき、令和７年の国内・訪日宿泊合計６８０万人泊達成に向け段階的な目標を設定している。

様式１

●来訪者満足度　※上段は国内旅行者のみの満足度、下段は海外旅行者のみの満足度。
「令和６年度仙台市観光実態調査」における来訪満足度より「総合満足度」上位２つの回答を根拠に算出し、外国人観光客の満足度については、対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。目標値は令和５年の実績を踏まえ上方修正する。目標値は年 0.5%以上の増加を目指す。

●リピーター率　※上段は国内旅行者のみのリピーター率、下段は海外旅行者のみのリピーター率。
「令和６年度仙台市観光実態調査」より、過去１年間に仙台市を訪れた方のうち、仙台市に２回以上訪れた方の割合を算出。外国人観光客のリピーター率については、対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。令和６年を基準年とし、年 0.5%以上の増加を目指す。

様式１

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●教育旅行客数（人）	目標	－	59,115	51,360	51,360	51,360	51,360
		(－)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	実績	36,601	44,815	確定前			
		(0)	(218)	確定前			
●コンベンション開催件数（件）	目標	－	671	586	533	544	583
		(－)	(136)	(60)	(100)	(100)	(100)
	実績	564	575	555			
		(23)	(23)	(107)			
●仙台観光情報サイトアクセス数（PV 数）	目標	－	4,800,000	6,961,886	6,188,121	6,373,764	6,564,976
		(－)	(96,000)	(359,667)	(599,679)	(617,669)	(663,199)
	実績	4,466,892	6,759,113	6,007,885			
		(90,522)	(342,540)	(582,213)			
●体験プログラムサイトアクセス数（PV 数）	目標	－	1,188,000	2,710,820	2,711,522	－	－
		(－)	(25,000)	(150,109)	(633,041)	(652,032)	(671,592)
	実績	989,880	2,631,865	2,632,546			
		(49,121)	(245,229)	(614,603)			
●再訪意欲度	目標	－	60	61	63	63	64
		(－)	(－)	(79)	(77)	(77)	(78)
	実績	63.0	63.0	62.8			
		(－)	(79)	(76.4)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値であり、詳細は下記参照のこと。
※期間は令和６年（１月～１２月）を対象し、ＫＰＩの数値を記載している。
※なお、観光情報サイト、体験プログラムサイトのアクセス数は令和６年度の数値を記載している。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【設定にあたっての考え方】

●教育旅行客数
上段は仙台市内の教育旅行の総数であり、下段は訪日教育旅行の数値であり内数である。
人口減少や少子化の影響を鑑み、コロナ期間中の最大値（51,360 人）を達成目標に設定。

●国際会議開催件数（日本政府観光局（JNTO）基準）
上段はコンベンション開催件数の総数であり、下段は国際会議の数値であり内数である。
仙台市は観光庁の「グローバル MICE 都市」に選定されており、東北大学の研究機関等と連携し、国際会議の積極的な誘致に取り組んでいる。令和 7 年～9 年については、仙台市内最大規模のコンベンション施設である、仙台国際センターの大規模工事に伴う影響を考慮し、3 か年でのコンベンション開催件数 1660 件を目標とする旨を仙台市と共有している。

＜国際コンベンション開催件数＞
ＪＮＴＯ国際会議統計件数より記載。

●仙台観光情報サイトアクセス数
毎年 0.5%以上の増加
令和 7 年の実績を踏まえ、令和 8 年以降の目標 PV 数を下方修正した。

観光情報サイトのPV数と宿泊者数の相関関係を調査したところ、PV数が増加した１か月後に宿泊者数が増加する傾向を確認できたことから、宿泊者数予測の指標として設定する。数値はGoogle Analytics の計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、「Discover Sendai」のページビュー数を記載している。

●体験プログラムサイトアクセス数

毎年0.5%以上の増加

体験プログラムの磨き上げとプロモーション強化は必要であることから滞在期間中のコンテンツとしての興味関心度の指標として設定する。数値はGoogle Analyticsの計測数値を記載する。訪日外国人旅行者のPV数については、日本語以外の言語を選択したユーザー数を記載している。令和８年以降は観光情報サイトとのサイト統合を行うため、PV数の目標を記載していない。

●再訪意欲度

年0.5%以上の増加

「令和６年度仙台市観光実態調査」より「再訪意向度」上位２つの回答割合を算出。外国人観光客の再訪意欲度については、対面でのアンケート調査結果を根拠に算出。令和６年を基準年とし、年0.5%程度増を目指し設定。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	589,896,908（円）	【基本財産運用益】	2,012,036（円）
		【特定資産運用益】	51,499（円）
		【受取会費】	16,081,000（円）
		【受取補助金等】	524,614,128（円）
		【受取負担金】	11,905,316（円）
		【事業収益】	34,120,831（円）
		【雑収益】	1,112,098（円）
2023（Ｒ５）年度	636,763,207（円）	【基本財産運用益】	2,001,089（円）
		【特定資産運用益】	51,481（円）
		【受取会費】	16,553,500（円）
		【受取補助金等】	576,561,683（円）
		【受取負担金】	17,013,900（円）
		【事業収益】	19,095,469（円）
		【雑収益】	5,506,085（円）

様式１

2024（Ｒ６） 年度	717,281,081（円）	【基本財産運用益】	2,018,240（円）
		【特定資産運用益】	51,483（円）
		【受取会費】	16,419,500（円）
		【受取補助金等】	618,507,968（円）
		【受取負担金】	17,544,126（円）
		【事業収益】	22,838,504（円）
		【雑収益】	39,901,260（円）
2025（Ｒ７） 年度	828,428,000（円） ※見込み	【基本財産運用益】	1,935,000（円）
		【特定資産運用益】	51,000（円）
		【受取会費】	17,000,000（円）
		【受取補助金等】	726,194,000（円）
		【受取負担金】	20,611,000（円）
		【事業収益】	62,436,000（円）
		【雑収益】	1,000（円）
2026（Ｒ８） 年度	828,428,000（円） ※見込み	【基本財産運用益】	1,935,000（円）
		【特定資産運用益】	51,000（円）
		【受取会費】	17,000,000（円）
		【受取補助金等】	726,194,000（円）
		【受取負担金】	20,611,000（円）
		【事業収益】	62,436,000（円）
		【雑収益】	1,000（円）
2027（Ｒ９） 年度	828,428,000（円） ※見込み	【基本財産運用益】	1,935,000（円）
		【特定資産運用益】	51,000（円）
		【受取会費】	17,000,000（円）
		【受取補助金等】	726,194,000（円）
		【受取負担金】	20,611,000（円）
		【事業収益】	62,436,000（円）
		【雑収益】	1,000（円）

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）	
2022（Ｒ４）年度	572,529,698（円）	【公益目的事業】	507,948,461（円）
		【収益目的事業】	13,667,919（円）
		【管理費】	50,913,318（円）
2023（Ｒ５）年度	626,789,429（円）	【公益目的事業】	556,456,110（円）
		【収益目的事業】	13,609,779（円）
		【管理費】	56,723,540（円）
2024（Ｒ６）年度	722,504,553（円）	【公益目的事業】	641,863,181（円）
		【収益目的事業】	20,657,721（円）
		【管理費】	59,973,651（円）
2025（Ｒ７）年度	743,086,000（円） ※見込み	【公益目的事業】	672,139,000（円）
		【収益目的事業】	23,885,000（円）
		【管理費】	47,062,000（円）
2026（Ｒ８）年度	743,086,000（円） ※見込み	【公益目的事業】	672,139,000（円）
		【収益目的事業】	23,885,000（円）
		【管理費】	47,062,000（円）
2027（Ｒ９）年度	743,086,000（円） ※見込み	【公益目的事業】	672,139,000（円）
		【収益目的事業】	23,885,000（円）
		【管理費】	47,062,000（円）

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

・DMO 活動に伴うマーケティング調査結果を会員向けに提供する等の会員メリットの強化と、宿泊施設や観光関連施設の未加入事業者への営業強化によって賛助会員数の拡大を図る。
・インターネットを通じた物販事業の拡充や仙台名物こけしなどのオリジナルコラボ商品の開発などによる自主事業収入の増大を図る。
・国や地方自治体の補助金など公的資金の活用と確保を図る。併せて、仙台市と DMO への補助金等、公的資金の充当方法について、DMO 推進会議など定期的な事業の進捗確認を継続的に行っている。

観光庁事業の採択一覧
【令和 6 年度】
・オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業
（事業費 6,000 千円　1/2 補助）
・海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業
（事業費 33,000 千円　10/10 補助）
・国際会議開催地としての魅力向上実証事業（事業費 4,964 千円　10/10 補助）

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

公益財団法人仙台観光国際協会はこれまで地域の様々な関連事業者とともに観光施策を進めてきた実績と、観光・MICE に関する専門性やノウハウを持つ法人であることから、本市の観光戦略の推進や交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げるため、仙台市としては当該協会と引き続き連携を強化していきたいと考えます。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

【区域が重複する背景】

仙台市は東北の玄関口であることから、主にインバウンド客をターゲットとする地域連携 DMO のインアウトバウンド東北でも仙台域内の観光資源を活用した取組みを展開しているため、仙台区域が重複する。

また、仙台市を含む、地域連携 DMO の宮城県観光連盟と区域が重複する。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

弊法人と、インアウトバウンド東北では、インバウンド観光客に関してターゲットが重複するところはあるが、インアウトバウンド東北は、主として富裕層向けの商品造成等の取組みを展開しており、弊法人は主に一般的な客層や MICE 関係者をターゲットした誘客を担う予定としている。また、宮城県観光連盟とは教育旅行や観光キャンペーン事業において連携しており、主にプロモーションを地域連携 DMO の宮城県観光連盟が担い、地域のコンテンツ造成や受入環境整備などを当 DMO が担っている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

同一ターゲットにおいても、富裕層と一般とセグメント分けを行った取組みと、相互の連携によって、ターゲットとするエリアから効率的且つ効果的に誘客活動が実施できると考えている。また、宮城県観光連盟についてはコンテンツ造成とプロモーションという役割分担により相乗的な誘客活動が可能と考えている。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	川口　順弘
担当部署名（役職）	ＤＭＯ担当部長兼観光地域づくり推進課長
郵便番号	980-0811
所在地	仙台市青葉区一番町 3－3－20　京阪仙台一番町ビル 6 階
電話番号（直通）	022－268－9568
ＦＡＸ番号	022－268－9568
Ｅ－ｍａｉｌ	y-kawaguchi@sentia-sendai.jp

様式１

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	仙台市
担当者氏名	渡辺　宗太
担当部署名（役職）	仙台市文化観光局　観光戦略課 企画調整担当課長
郵便番号	980-8671
所在地	宮城県仙台市青葉区国分町３丁目７−1
電話番号（直通）	022−214−8028
ＦＡＸ番号	022−214−8316
Ｅ−ｍａｉｌ	souta_watanabe@city.sendai.jp

（登録）【地域DMO】公益財団法人仙台観光国際協会

様式２

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
宮城県仙台市
【設立時期】 平成27年4月1日
【設立経緯】
仙台観光国際協会と仙台市の役割分担等をした上でDMO申請
【代表者】 理事長　結城　由夫
【マーケティング責任者（CMO）】 川口　順弘
【財務責任者（CFO）】 前川　由香子
【職員数】 72人（役員3人、正職員34人、嘱託職員28人、派遣4人、出向2人、臨時職員1人）
【主な収入】（令和6年度）
仙台市補助金654百万円、賛助会費　17百万円など
【総支出】（令和6年度）
公益目的事業672百万円、収益目的事業　23百万円、管理費47百万円
【連携する主な事業者】

・東北観光推進機構（広域連携DMO）、インアウトバウンド東北（地域連携DMO）、宮城県観光連盟（地域連携DMO）、仙台商工会議所、仙台市中心部商店街活性化協議会、仙台国際空港㈱、仙台市交通局、宮城県バス協会、仙台ホテル総支配人協議会、秋保温泉旅館組合、作並温泉旅館組合、他観光関連団体、商工団体、宿泊事業者、観光関連事業者、農業関連事業者、交通事業者

KPI（実績・目標）

記入日：　令和7年7月31日

※（　）内は外国人に関するもの。

指標項目		2022（R４）年度	2023（R５）年度	2024（R６）年度	2025（R７）年度	2026（R８）年度	2027（R９）年度
旅行消費額（百万円）	目標	－	257,299	373,744	397,305	408,662	426,425
		(－)	(－)	(82,128)	(97,694)	(106,575)	(124,338)
	実績	206,086	330,978	393,025			
		(－)	(55,610)	(98,017)			
延べ宿泊者数（千人）	目標	－	6,242	6,500	6,600	6,700	6,800
		(－)	(334)	(500)	(550)	(600)	(700)
	実績	4,780	6,004	6,508			
		(34)	(338)	(551)			
来訪者満足度（%）	目標	95	68	77	78	79	79
		(－)	(－)	(91)	(92)	(92)	(92)
	実績	72.2	76.0	77.4			
		(－)	(91)	(91.4)			
リピーター率（%）	目標	－	56	57	55	55	56
		(－)	(－)	(25)	(27)	(27)	(28)
	実績	54.7	52.9	54.0			
		(－)	(25)	(26.4)			

戦略

【主なターゲット】
国内：首都圏及び東北圏域からの観光客及びビジネス客
海外：タイ・台湾を中心とした訪日外国人観光客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
・仙台の地域ごとの特徴や、多種多様な魅力を最大限活用する地域ブランディング
・仙台DMPなどを活用したデジタルマーケティング
・仙台を含む広域観光の推進　等
【観光地域づくり推のコンセプト】
中期ビジョン「持続可能な国際観光都市・多文化共生のまち仙台を目指して」の実現

具体的な取組

【体制の整備】
・観光地域づくり推進課の創設
・インバウンド推進室の創設　等

【観光資源の磨き上げ】
・ブランドコンセプト体現に向けた、多様な事業者の巻き込み、合意形成
・新市場の獲得に向けたAT事業推進　等

【受入環境整備】
・グローバルMICE都市としての、M・I誘致
・地域OTAの導入
・地域事業者の稼ぐ力を高めるマーケティングレポートの作成、セミナー開催　等

【情報発信・プロモーション】
・仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」での情報発信
・仙台ファンを獲得するための観光CRM導入（令和7年度～）
・「仙台旅先体験コレクション」での体験プログラム掲載　等

【その他】
持続可能な観光地域づくり推進
・GreenDestinationTOP100Storiesへの申請
・持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）ロゴの使用検討
等